

日本政府に核兵器禁止条約の 批准を求める岩手県民の会 ニュース

第6号/2022-10-21

発行：核禁条約批准を求める岩手の会

事務局：岩手県生活協同組合連合会

☎019-684-2225

署名数の大きな飛躍をめざそう

いわて生協も、年内 3 万筆をめざして署名が本格スタート。
核禁条約批准国現在 68 カ国！日本政府も批准を急げ！！

10月29日(土)に街頭宣伝で訴えましょう！

お願いとお知らせ

生協ベルフ仙北 11:00～11:45
参加できる方は 15 分前に集合願います



前列中央が高校生平和大使。左：喜納小春さん
(葛巻高校) 右：吉田碧理さん (不来方高校)

9月24日高校生平和大使2名をお迎えし
各幹事団体の代表らと、懇談を実施。

最初に三田代表から被爆体験をお話しし、その後「なぜ核廃絶について興味を持ったか」「日本政府の対応をどう思うか」「軍拡の声には?」「これからどんな核廃絶運動をしたいか」など、質問し懇談しました。

簡潔かつ強い意志をもって答える大使たちは頼もしく、大人の方も頑張らねばと奮起させられました。マスコミには知らせ、電話でも誘うなどしましたが取材がなく、いい企画だっただけに、その点が惜しまれます。

◆なぜ関心を持ったの？

吉田) 中学生の時から国際関係に関心があった。歴史で終わったことじゃない、今日の前に危機がある。次の時代を担う一員として活動したいと思った。でも、被爆を体験してない人が伝える難しさも感じる。

◆批准しない日本政府の事、どう思う？

喜納) 若い人たちは、ちゃんと日本政府の動きを見ている。日本政府こそ動かないとダメだと思うのに、私たちのそうした声が伝わりにくいなど感じている。

◆核廃絶に向けこれからやりたいことは？

吉田) 教育に携わる仕事を通じ、戦争を繰り返さないために考えてもらう機会を作りたい。喜納) 恐怖心から軍備に頼ろうとすると戦争に近づくと感じる。私も平和教育や学習を広げていきたい。

署名数(10/20 現在) **17,617筆**(目標 10万筆)

「核兵器禁止条約」に署名した国 91 カ国・批准した国 68 カ国

≪日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会幹事団体≫

岩手県原爆被害者団体協議会 / 平和環境岩手県センター / 原水爆禁止岩手県協議会
岩手県生活協同組合連合会 電話：019-694-2225 FAX：019-624-2227